

ウェルビーイングと成長戦略④ 若い世代、特に女性のウェルビーイング向上がカギ?

若い世代、女性がウェルビーイングを向上できる富山県に!

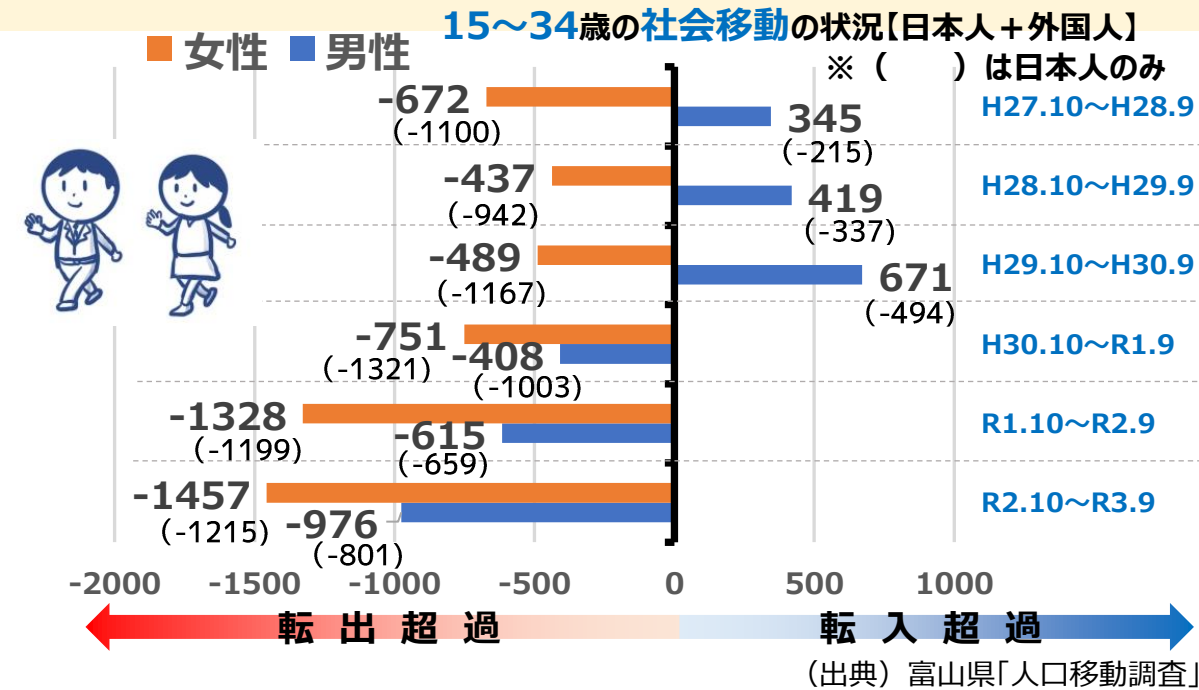
本県は、若い世代の転出超過（社会減）、特に女性がより多く県外に転出している状況が続いています。（右図）

このような状況は、経済の縮小や、地域の活力・魅力の減退、そして更なる転出超過という悪循環を引き起こします。また、女性の社会減が著しいことによる若い世代の男女構成のアンバランスが、婚姻数の減、さらに出生数の減につながっている、という指摘もあります。

こうしたなかで、成長戦略では、単に「流出防止」を目的とするのではなく、人材の出入りがあることを前提に、多様な人材がいきいきと自分らしく暮らすことができる環境づくりに取り組み、ウェルビーイングの向上を目指すことで、人材の交流・集積（「出入りの活性化」）に繋げるとしています。

そして、戦略の柱の一つ、「真の幸せ（ウェルビーイング）戦略」では、全ての県民のウェルビーイング向上を目指すなかで、特に若い女性のウェルビーイング向上に着目しています。

大きな社会減という現実がある若い世代、女性のウェルビーイングに向き合うことは、県全体のウェルビーイング向上、また、本県としてのこれからの活路を開く、1つのカギとなると考えられます。



日本人だけで見ると、2016年～2019年は男性も転出超過になる。女性の社会減はやはり大きく、若い世代は全体的に転出が多いね。

若い世代の社会減、東京一極集中は、本県だけでなく地方全体の長年にわたる大きな課題だね。

進学や就職で多様な選択肢があって、キャリアアップ、自己実現につながりやすい環境、華やかな街の雰囲気や高い寛容性など、東京圏に魅力を感じる人は多いかもしれないけど・・・
その中で、これからの富山県はどうしていけばいいのかなあ。

構造的な課題もあるから、なかなか難しいけど、成長戦略で掲げるように、一人ひとりのウェルビーイングを軸に考え、県内に住む人が幸せであることはもちろん、県外に出た人にとっても、帰ってきたい、ずっと好きな富山県であり続け、また、いつでも、誰でも、温かく迎えることができる、皆の”居場所”や”舞台”のある富山県でいたいね。

そのためにも、若者や女性などの多様な視点・思いにもっと向き合うことは大事だね。課題は多いけど、活かせる余地が大きいから、逆に大きな伸びしろとも言える。どの分野にも関わるし、皆で考えていきたいね。